



福島いわきバイオマス発電所の営業運転開始

2022年4月1日
エイブルエナジー合同会社

株式会社エイブルと関西電力株式会社、株式会社九電工の共同出資会社であるエイブルエナジー合同会社（以下、当社）は、2020年1月からバイオマスを燃料とする「福島いわきバイオマス発電所」の建設を進め、本日、営業運転を開始しました。国内最大級出力11.2万kWのバイオマス専焼発電所^{※1}となります。

バイオマス発電は、大気中のCO₂を吸収しながら成長する植物に由来する燃料を使用する、カーボンニュートラルな発電方法のひとつです。

本発電所は、年間発電量が約7.7億kWhであり、一般家庭に換算して約25万世帯分^{※2}の使用量に相当します。

当社は、福島県が掲げる「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン2021～持続可能な社会を目指して～」^{※3}の達成に寄与するとともに、本事業を通じ地域貢献を目指します。

※1：バイオマス燃料のみを燃料としている発電所。

※2：東北電力株式会社の従量電灯Bの平均的なモデルの使用量を260kWh/月として算定。

※3：「2040年頃を目途に、福島県内エネルギー需要の100%以上に相当するエネルギーを再生可能エネルギーから生み出す」ことを導入目標に掲げている。

以上

<福島いわきバイオマス発電所の概要>

発電所名	福島いわきバイオマス発電所
事業者	エイブルエナジー合同会社 ※2015年2月設立
出資会社	株式会社エイブル（45%） 関西電力株式会社（50%） 株式会社九電工（5%）
所在地	福島県いわき市好間 ^{よしま} 工業団地24番6
発電出力	112,000kW
発電電力量	約7.7億kWh/年
燃料	海外産木質ペレット
敷地面積	約5.4万㎡
売電先	東北電力ネットワーク株式会社

<福島いわきバイオマス発電所の外観>





<所在地>

